



公益社団法人
滋賀県理学療法士会
ニュース

No.206 (2018-1)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2018.2.1発行

発行者: (公社) 滋賀県理学療法士会 本白水 博
〒520-3232
滋賀県湖南市平松519-37

編集者: 島田 吉建 (甲西リハビリ病院)

山添 徹 (公立甲賀病院)

山本 裕介 (公立甲賀病院)

印刷所: (有) 東 呉 竹 堂 (ひがし印刷)

新しい年を迎えて

新年明けましておめでとうございます



会長
本白水 博

会員の皆様には、輝かしい平成30年の新春を健やかに迎えになられたことを心からお慶び申し上げます。平素は、士会活動にご協力を賜りまして、心より厚く御礼申し上げます。

今年は医療介護報酬同時改正、県保健医療計画、医療費適正化計画、第7期介護保険計画、国保の県への移行の促進など大きな節目を迎える年となりそうです。この中で強調されていることのひとつが、「地域包括ケアシステムの深化」「持続可能な医療・介護保険制度」となっています。超高齢化と人口減少が進む中で、施設から在宅へ、医療から介護へ、医療介護連携、病床機能の再編をはじめとする医療介護システムの改革がスピードを上げて推進されようとしています。持続可能な保険制度を維持するためには、地域包括ケアが地域でしっかりと機能し、社会保障制度の大胆な改革と財源の確保が必要条件となります。制度の改革と財源の確保を担保するためには、様々な痛みを伴う覚悟が必要です。

日本の人口の長期的な推移によりますと、関ヶ原の戦いの頃で1200万人、江戸時代で3000万人、そして明治以降急激に増加し2010年の1億2800万人を境に現在は減少局面に入り、今後は急激に人口減少が始まる入口に差し掛かっている状況です。人口減により右肩上がりから右肩下がり社会、経済、GDPとなり、生産年齢が減少し高齢化が進行することから所得税や法人税は減少し支出が増加することになり、制度を維持するための「財源の確保」は至難の業となります。そこで消費税を上げれば、ただでさえ赤字経営の多くの病院が更に経営危機になるのは必須です。国の予算が約98兆円(補正も含む)のうち、1/3以上が借金であり、1000兆円を超える国債地方債などを考えると国が早期に財政再建のプランを立ててもらいたいものです。

さて、本会の会員数は昨年1000人を超え、予算においても約1500万円程度の規模となり、長年小さな組織というイメージが強かった団体が規模の大きな団体に成長したことを確認する必要があります。数年前までは毎年50人前後で増加していた新入会員が、この2年間は約100人規模で増加しています。今後どの程度増加するかは不透明な状況ですが、県の2025年のリハ職必要数については、3,000人を人材確保の目標数としており現在より1500人増加する計算になります。これはあくまで必要数であり、この人数を確保するためには雇用を創出できる財源の確保が条件となり、必要性は高くても財源がなければ絵にかいた餅、無い袖は振れないこととなります。財源を獲得するためには、データに基づいた効率的で効果的な理学療法学を確立し、社会に認めてもらえる理学療法法の核を持ち合わせる事が重要であり、それに加え政治的な戦略と強い政治力を持ち合わせているかどうかにかかっていると思います。

限られた財源の中で持続可能な医療・介護制度を維持するために、我々は何ができるかが問われているのではないのでしょうか。

皆様方の益々のご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げまして、年頭にあたりましてご挨拶とさせていただきます。

平成30年1月吉日

役員選挙告示

2017(平成29年)12月1日
滋賀県理学療法士会 選挙管理委員会
委員長 小澤 和義

公益社団法人滋賀県理学療法士会役員の任期満了にともない、きたる平成30年度定期総会において、定款第4章、第22条の規定により役員選挙を行います。

なお、選ばれた理事のうち1名を会長、会長以外の3名を副会長とする。会長及び副会長は、理事会の決議によって理事の中から選任する。

選挙すべき役員名と定数：理事8～11名、監事2名以内。

選挙期日：2018年(平成30年)定期総会において。

立候補受付期間：

告示より2018年(平成30年)2月末日(郵送による当日消印有効)までとします。なお、立候補受付期間締め切り後の届け出は一切受け付けません。また、所定の様式を満たしていない場合は無効とします。

立候補届の様式：

- 1) 立候補者本人による立候補の場合は、「様式第1号」に基づき作成して下さい。
- 2) 推薦による立候補の場合は、「様式第2号」に基づき作成して下さい。
- 3) 「様式第1号」、「様式第2号」ともA4版の大きさとし、(滋賀県士会ホームページよりダウンロードできます。)

立候補届の郵送先：立候補届は手元にコピーを残し、下記に郵送して下さい。

〒520-3046 栗東市大橋2-4-1

済生会滋賀県病院 リハビリテーション技術科 小澤 和義 宛

第8回施設対抗フットサル大会を開催しました！



2017年11月19日(日)に『第8回施設対抗フットサル大会』を開催致しました。会場の「F.C.JATS スタジアム FUTSAL POINT 守山」は3年連続となります。ご参加下さった皆様、誠にありがとうございました。1週間前から週間天気予報を確認しては雨天延期にならないよう祈っていましたが、当日の天気は何とか晴れ～曇りでもってくれました！ただ、気温が平年より低く、とても寒い中での試合となりました。本当にお疲れ様でした。

今回も審判員を雇い、公正なジャッジの下、安全に大会運営ができました。参加者の方々には、ロングシュート禁止・男性から女性へのボディコンタクト禁止などの大会特別ルールにご協力頂きまして、改めてお礼申し上げます。怪我人もなく無事大会を終えられたのは、皆様のご協力あってのものと同運営スタッフ一同非常に感謝致しております。

さて、白熱した大会についてですが、毎年同様の形式を採用しリーグ戦後に決勝トーナメントを行いました。17チームを3つの予選リーグに分け、各リーグの上位3チームが上位トーナメントへ、その他下位チームは下位トーナメントに進みました。

決勝トーナメント前には“このチーム、雰囲気良かった”“このチームに賞をあげたい”など、他チームに好印象を与えたチームに贈られるグッドチーム賞の投票を行いました。見事3票獲得し、大津市民病院が受賞されました。確かに仲の良さが目立っていましたね。

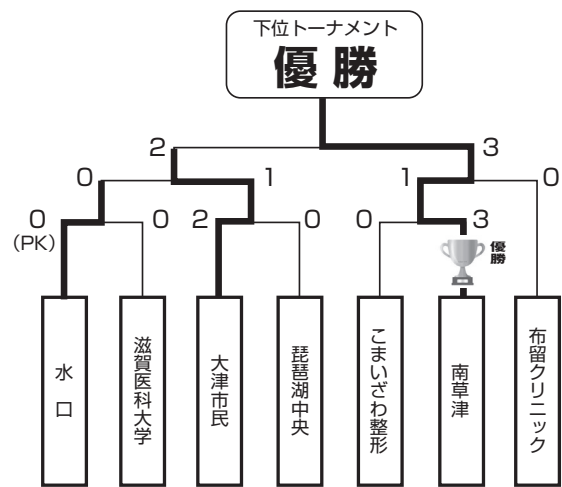
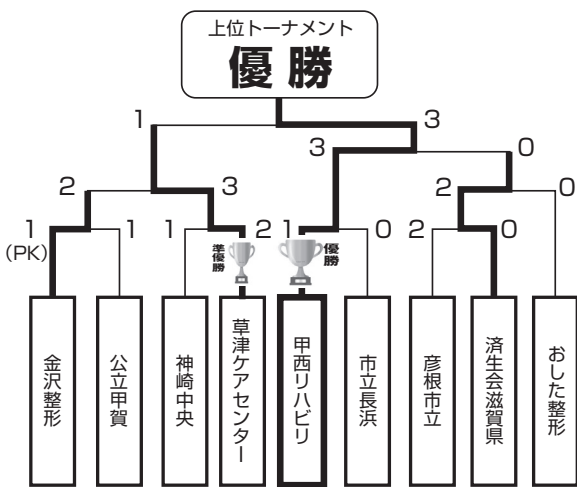
また、トーナメント前に交流イベントも行いました。男性、女性、子供と計5名がボールリレーし、タイムを競うイベントです。子供達も一生懸命に走ってくれて、皆一緒になって応援しましたね。全員で盛り上がり、とても楽しい時間を過ごせました。結果は、大津市民病院が1分4秒で堂々1位でした。また来年も催したいと思いますので、応援に来られた方も是非ご参加頂ければ幸いです。

本戦の上位トーナメントは、甲西リハビリ病院が優勝されました！第2回、第4回大会に続き、今回で3回目の優勝ですね。また、初出場の草津ケアセンターが惜しくも準優勝でした。毎回実力が拮抗していて、どこが優勝するか本当に分かりません。下位トーナメントの優勝は南草津病院でした。個人賞として、男性では小西看護師(公立甲賀病院)が8ゴール、女性では辻田作業療法士(甲西リハビリ病院)が3ゴールでそれぞれ得点王に輝きました！各優勝チームの皆様、得点王のお二人、おめでとうございます。



来年も開催する予定ですので、フットサルをしている・フットサルに興味のあるご施設は、是非ご参加下さい！個人での参加を希望される方は厚生部までご連絡ください。次回もどうぞよろしくお願い申し上げます。

厚生部 滋賀医科大学医学部附属病院 澁川 武志



上位Tの優勝 甲西リハビリ病院



下位Tの優勝 南草津病院



試合風景



試合前後には握手



交流イベントのボールリレー

会長行動録

平成 29 年

- 11月11日(土) 近畿ブロック会議
- 11月11日(土) 近畿ブロック役員懇親会
- 11月12日(日) 近畿理学療法学会学術大会
- 11月15日(水) リハビリテーション協議会
- 11月18日(土) 地域包括推進会議
- 11月20日(月) 医療審議会医療計画部会
- 11月21日(火) 執行理事会

- 11月26日(日) 兵庫県士会 50周年記念式典
- 12月2日(土) 協会理事会・理事懇談会(東京)
- 12月7日(火) 医療審議会
- 12月12日(火) 武田薬品中西氏 医療政策について意見交換
- 12月13日(水) 医療推進協議会(県医師会主催)
- 12月14日(木) 公益事業計画会議(拡大理事会)
- 12月21日(木) 管理者研修打ち合わせ

リレーフォーライフ 2017 の活動報告書

2017年度も滋賀県理学療法士会はリレーフォーライフジャパンに参加させていただきました。滋賀医科大学での開催となりました。リレーフォーライフとは、がん患者様やその家族様を支援し、地域全体でがんと向き合い、そしてがん征圧を目指すためのイベントです。多くの人の思いが込められたルミノリエバック(行灯)の並ぶなかを24時間歩きます。ともに夜を越えることで明日を生きる勇気と希望を分かち合います。

滋賀県理学療法士会のリハビリ紹介ブースも大変盛況で、士会のタオルも配布させていただきました。今年は天気にも恵まれ暑かったこともあり、タオルの配付が好調でした。

タオルを配布した方々にも御協力頂き、様々なブース参加者の方が県士会のタオルを持ってリレーウォークされる姿が多く見られました。

ルミノリエバックは当日参加のスタッフや、士会の先生方に協力していただき作成し、滋賀県理学療法士会からは5つのルミノリエバックを提出させていただきました。

御協力していただいた皆様方、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

公益事業部
水口医療介護センター
岸本 美地彦



しごとチャレンジフェスタ 2017 活動報告書

しごとチャレンジフェスタ 2017 が、10月28日と29日の2日間の日程で開催されました。今年から会場が竜王町総合運動公園(ドラゴンハット)に変更となり、2日間両日の参加であったため、スタッフ全員が試行錯誤の中での試行となりましたが、無事終了となりました。

しごと体験教室は悪天候の中ほぼ満員、2日間でしごとチャレンジタイムを含めて60人超の参加がありました。子供達、家族様方ともに笑顔で楽しそうに参加をしていただけました。理学療法士になりたいという子供達の熱い眼差しを感じることができ、スタッフも一緒に楽しくできました。

たくさんの方に来場をしていただき、ありがとうございました。今後も子供達の活躍に、少しでも貢献をさせていただきたいと思っております。

公益事業部
水口医療介護センター
岸本 美地彦



おおつ健康フェスティバル 2017 活動報告書

おおつ健康フェスティバル 2017 が明日都浜大津にて開催されました。今年度は「シルバーリハビリ体操」の普及啓発活動の一環として、大津市の理学療法士が主体となり、他市町村の理学療法士と連携をとりながら準備を進めさせていただきました。

あいにくの悪天候の中、合計104名の参加者の方々に、シルバーリハビリ体操の体験をして頂きました。

理学療法士とともに参加者の方々の笑顔で楽しそうに体操をされている姿が、大変印象深く記憶として残っております。

今後も地域住民の力になれるような活動の継続が必要ではないかと考えております。

公益事業部
水口医療介護センター
岸本 美地彦



＜障がい者スポーツ支援部だより＞

第17回全国障害者スポーツ大会 (平成29年10月28日～30日) トレーナー帯同報告

安田 孝志

(滋賀医療技術専門学校)

この度、トレーナーとして滋賀県選手団として共に闘ってきました。愛顔つなく愛媛大会(第17回全国障害者スポーツ大会)は、愛媛県において3日間の熱い闘いが繰り広げられました。

主な活動は、①会場でのケア②宿舎でのケアでした。

滋賀県は、陸上競技(身体・知的)、フライングディスク(身体・知的)、水泳(身体・知的)、卓球(身体・知的)、ボウリング(知的)、アーチェリー(身体)、ソフトボール(知的)の7競技42名の選手がエントリーしていました。

大会は、愛媛県内の9市町で競技が行われます。この度、トレーナーは私だけだったので、メイン会場(ニンジンスタジアム)に張り付いていました。ニュースでも報告したように、選手・コーチとは一度しか面識のないまま、大会当日を迎えました。

不安を抱えたまま合流したのですが、全選手・コーチに暖かく迎え入れていただくことができました。そのおかげで、選手村ではテーピングやストレッチ、マッサージ、アイシングなど多くの役割をいただきました。宿舎に戻っても、夕食が終わるや否や夜の11時ころまで、毎晩私の部屋に代わる代わる選手とコーチが出入りするといった状況でした。

十分なことができたかどうかは、わかりませんが、チーム一丸となって、選手ファーストで動けたと思います。しかし、何と云っても一人では限界がありました。

この度深く携われたのは、陸上、水泳、ボウリング、卓球のみでした。この4競技だけでも、手が足りませんでした。他の競技に、携われなかった理由は、宿舎が遠方にあったためです。仕方ないことだと思いますが、アーチェリー、ソフトボール、フライングディスクの選手には申し訳ないことをしました。もっと、滋賀県理学療法士会の理学療法士がいてくれたら!と思いました。



大会中に見ておきたかったことのひとつが、他の都道府県の選手団のトレーナー状況です。リサーチしてきたところ、5府県のみがチームに帯同したトレーナーを有していました。中でも、3府県はベッドなどを持ち込みしっかりしていました(安田調べなので、実際はもう少しいたかもしれません)。滋賀県も次回の福井大会には、環境を整えていきたいと思っています。

この度の大会で見えてきた課題は、トレーナーの少なさでした。欲を言えば、各競技に1人は必要です。滋賀県理学療法士会の皆さん、是非障がい者スポーツに携わってください。

来る滋賀県開催の国体・全スポに向けて共に頑張りましょう。

全スポの正式競技は、これ以外に6競技(車いすバスケットボール(身体)、バレーボール(身体・知的・精神)、サッカー(知的)、バスケットボール(知的)、グランドソフトボール(身体)、フットベースボール(知的))があるのですが、滋賀県は選手がいないためエントリーできていませんでした。

選手の発掘はもちろんですが、滋賀県選手団の帯同理学療法士が心強ければ、人が集まり、成績も伸びていきます。



興味のある方は、滋賀医療技術専門学校の安田孝志までご連絡ください。

Tel.0749-46-2322(直) Mail.t-yasuda@pt-si.aino.ac.jp

平成 29 年度定例研修会 第 3 回 滋賀県神経理学療法研究会のご案内

- テーマ** 小児の摂食・嚥下障害の支援について
日時 3月10日(土) 13:30～16:30 (13:00 受付)
講師 坂本 隆氏 (小児保健医療センター 療育部 言語聴覚士)
会場 小児保健医療センター 研修室 (守山市5丁目7-30)
持ち物 飲物 (実技で使用します)

* 駐車場は小児保健医療センターではなく、センターの南側(栗東方面)にある総合駐車場をご利用ください。

研修会費 滋賀県理学療法士会員：無料 その他：1000円

申し込み 必要事項を記入して、下記メールから申し込みください。
sigapptyuusuu@yahoo.co.jp

【メール申し込み記載事項】

件名に「定例研修会第3回 滋賀県神経理学療法研究会 申し込み」と記載をお願い致します。

1: 勤務先名称 2: 氏名(カナ) 3: 会員番号 4: 職種 5: 連絡先電話番号
6: メールアドレス 7: 経験年数 8: 所属士会

主催 滋賀県理学療法士会 神経理学療法研究会
担当: 山口卓也 (sigapptyuusuu@yahoo.co.jp)

滋賀県理学療法士会 国体支援部 2017年度第5回研修会

テーマ: スポーツ現場における外傷への対応(上肢)、筋力トレーニング

日時: 平成30年2月18日(日) 10:00～16:00 (受付9:30から)

内容: スポーツ現場で活躍する理学療法士の育成を目的として、国体支援部内にて知識・技術の向上を図ります。

第一部は、練習や試合において発生する可能性のある上肢スポーツ外傷のメカニズムを講義形式で学習します。その後、応急処置方法を実技形式で学習します。

第二部は、スポーツ現場における筋力トレーニングを理論と実技で学びます。また、グループ形式にて集団に対しての指導方法も学習します。

対象: 国体支援部研修会ベーシック「ウォーミングアップとクーリングダウン」を受講された方 ※部内研修会のため

タイムスケジュール

09:30 受付開始

10:00 上肢のスポーツ外傷概論

11:00 上肢の応急処置、理論と実技
13:00 お昼休憩
14:00 筋力トレーニング概論、実技、グループワーク
16:00 終了

講師：宇於崎 孝、松下 大輔、岡 恭正、柴田 直紀、鷺見 三四郎、土山 裕之、中西 恭介、
久田 信彦、富士野 秀峰、森 宜裕、

会場：吉身会館
(守山市吉身三丁目2番8号 JR守山駅から徒歩15分)

持物：動きやすい服装、三角巾(目安105cm×105cm×150cm)

参加費：無料

備考：専門・認定理学療法士制度のポイント認証を申請中

懇親会：研修会終了後に会場付近で懇親会を予定しています(参加費3000円～5000円)

申し込み方法：下記URLに必要事項を入力しお申し込み下さい。

お申し込み後、自動返信メールをお送りさせていただきますので、メールが届かない場合はお問い合わせ下さい。

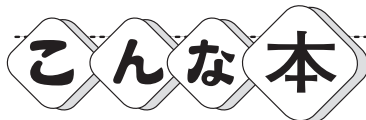
<https://goo.gl/forms/ZfMw1v1tEGCU4vQV2>

申込締め切り：平成30年2月11日(日)

お問い合わせ先：〒520-0044 滋賀県大津市京町2-1-24 あそうクリニック

TEL: 077-510-6580

国体支援委員会 事務局(担当:柴田) E-mail: pt.shigakokutai@gmail.com



読みました!



大津市社会福祉事業団

並河 孝

【題名】

脳卒中患者だった理学療法士
が伝えたい、本当のこと

【著者名】

小林 純也：理学療法士

【出版社】

三輪書店



著者は23歳で脳卒中になり、30歳で理学療法士になった経歴を持ち、本当に伝えたい心の中のことを書かれていて、一読に値する本と思い読み始めた。まず初めに医療・介護職の人に質問している。治療や介護をしていて、うまく結果が出ずに高次脳機能障害があるから・認知症があるから等、うまくいかない理由をついつい患者さんに向けて、心の折り合いをつけていませんか？ あきらめが滲(にじ)んだ気持ちになるのには、たった一つの理由があります。それは脳卒中経験者が何を考え、何を感じているかが理解できていないからであると述べている。痛いところを付かれたようで、考えを新たにして人と接する基本を一から学ぶべきと今更ながら感じている。若く脳卒中を患い混迷の中で、与えられた訓練は余り印象に残ってないが自分で考え理屈がわかる運動は非常に印象に残っているようである。彼を支えたのは残念ながらセラピストでなく、『三つのA』あせらず、あわてず、あきらめずの言葉である。高次脳機能障害の検査で描けなかった模写では、こんな気持ちで我々の指示に従って書かれている苦しみがあるのかがわかる。『物足りぬりハとやり過ぎた自主練習』では、よくあることであり軽く通り過ぎされる一場面を記載している。退院後は、倒れた時に一生懸命努力していたボクシング選手を再度目指すが、プロテストを受ける時のドクターの診断であきらめなければならなくなった。しかし、脳卒中という病気をハンディやマイナスにすることなく、逆に障がいを持っていることを誇りと考え、紆余曲折を経た経験は武器になるという発想の転換には頭が下がる。その他自分の経験した症状、痙性麻痺、片マヒ、利き手交換、歩行訓練、感覚障害、運動失調症、高次脳機能障害等については理学療法士となり、学んだ内容がポイントを押さえて書かれていて勉強になり、学生に勧めてもよい内容となっている。一読頂ければ、きっと目からうろこと思う感動があるはずです。

第33回滋賀県理学療法学会のご案内

- 【テーマ】 データで開く理学療法の未来
【日時】 平成30年7月8日(日)
【場所】 ひこね燦パレス 多目的ホール 滋賀県彦根市小泉町 648-3
【内容】 市民公開講座 『ひざ・軟骨はもどらない! ~ひざ治療, ホントの話~』
講師: 角田 恒 医師
彦根市立病院 整形外科 部長
教育講演 『初めての学会発表で困らないために』 - 研究デザインから考察の考え方まで -
講師: 山内 正雄 氏
首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 理学療法科学域 特任教授
認定理学療法士(徒手理学療法) 専門理学療法士(運動器)

一般演題発表

- 【演題募集要項】 [1] 今大会の演題発表概要
口述発表、ポスター発表形式で行います。
[2] 発表時間
口述発表、ポスター発表: 1 演題につき 10 分
(発表時間 7 分、質疑時間 3 分)
[3] 応募資格
筆頭演者は、公益社団法人 滋賀県理学療法士会会員に限ります。
[4] 応募方法
抄録の投稿をもって受付と致します。
応募先 E-mail アドレス
reha@municipal-hp.hikone.shiga.jp
受付確認のため学術部より返信メールを送信します。2 週間以内に返信がない場合やご不明な点があればお手数ですが当局(下記連絡先)までご連絡下さい。
[5] 応募期限
平成30年3月9日(金) 17 時まで

- 【演題要項】 [6] 応募上の注意
演題は、未発表のものに限ります。応募された演題(抄録)と当日の発表内容が大幅に変わることの無いようお願い致します。ヘルシンキ宣言に沿った研究であることをご確認ください。
[7] 演題審査及び決定通知
演題の採択は、本学術大会準備委員が定めた演題審査員(査読者)による審査結果を参考に大会長が決定し、発表形式についても学術局の判断で通知致します。平成30年4月末日までに応募者のメールアドレス宛に通知致します。
[8] 抄録の作成
様式は縦 A4 用紙に横書きにて、一行の文字数は 26 文字以内、行数は 50 行以下とし、印字範囲が横 8.5cm、縦 25.0cm の長方形におさまるようにしてください。文字の大きさ等については、演題名は MS ゴシック体 12 ポイント、その他の文字は MS 明朝体 10.5 ポイントに設定してください。
抄録中に倫理規定に関する記述がない場合には登録できませんので、注意してください。
[9] 滋賀県理学療法士会誌への掲載
滋賀県理学療法士会誌への掲載・投稿を推薦する場合があります。
[10] 発表演題申し込みに関する問い合わせ、および抄録の問い合わせ先
彦根市立病院 リハビリテーション科
林 延幸
Tel 0749-22-6050

滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

✓ 事務局

ptshiga@ares.eonet.ne.jp 担当： 本白水

✓ 入会、異動、休会

異動届は協会ホームページ（マイページ）上から行うことになっています。

<http://www.japanpt.or.jp/>

✓ 財務関係 公文書発送

info@shiga-pt.or.jp 担当：滋賀医大 平岩 TEL/FAX 077-548-2670

✓ 発送物関係 総務部

reha@otsu.jrc.or.jp 担当：大津赤十字病院 リハビリテーション科 奥田

折込発送物等あれば、毎月 25 日までにお申し出ください。折り込み発送物の発送先の発送範囲についてもお知らせください（会員のみ、関連団体など）。各部の事業の配布物に関しても発送に関しては総務部にご相談ください。

✓ ホームページ原稿受付

担当：kojin@belle.shiga-medac.jp 担当：滋賀医大 岩井
ホームページ <http://www.shiga-pt.or.jp>

✓ 士会ニュース原稿受付 広報部

shigaptnews@yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院 山添

✓ 研修関係 研修部

ptshigakennsyuukai@yahoo.co.jp 担当：小児保健医療センター 清岡

✓ 介護保険部

ptkaigohokenrnbu@yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院訪問リハビリテーション事業所 深江
電話 /FAX は 0748-62-3081 30 年 4 月より担当者変更予定です 近江温泉病院 久保田

✓ 診療報酬部

rehabili@yasu-hp.jp 担当：野洲病院 辻村
TEL : 077-587-1332 FAX : 077-587-5004

✓ 生涯学習関係 生涯学習管理部

mikeya@pt-siaino.ac.jp 担当：滋賀医療技術専門学校 池谷
TEL 0749-46-2322

✓ 厚生事業関係 厚生部

ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp 担当：東近江市蒲生医療センター 奥田

事務局 だより

2月分

- 会員数 1006 名
- 賛助会員 5 社
- 連絡不能者 19 名

会員異動について

会員異動の手続きができていないことでトラブルが増えています。

所属施設の変更、県内外への異動、姓の変更、自宅住所の変更などがありましたら必ず、マイページからお手続きください。異動手続きを怠りますと協会や士会からの発送物がお届けできないばかりか、転居後新しい住民の方にご迷惑をおかけしますのでご協力お願いいたします。

ユーザー名やパスワードをお忘れの場合は「ID・パスワード」再発行申請書を協会に送付して再発行していただく必要がありますのでご注意ください。申請書は協会ホームページの異動・休会・復会等の手続きのページからダウンロードできます。

施設名の変更がありましたら、所属施設の責任者の方のマイページから修正が出来ます。出来ない場合は平岩までお知らせください。

発送物は昨年度から会員区分が施設の方は所属施設の方へ発送することになりました（PT協会からの発送物を除く）。

県内の病院、施設等にお勤めの方は、必ず所属施設をマイページで登録しておいてください。

日本理学療法士協会ホームページ

<http://www.japanpt.or.jp/>

会費未納の方へ

会費の未納の方は速やかにご入金ください。

協会の規定変更により来年度分までの会費を6月末までに納入しないと自動退会となりますのでご注意ください。

一旦退会となりますと、新プロもリセットされ、これまでためられたポイントも無効になります。協会の損害賠償保険も継続できなくなりますのでご注意ください。

会員権利も会費未納の間は停止となりますので、学会発表、各種研修会の参加ポイントなどが制限されます。

詳しくは日本理学療法士協会ホームページをご覧ください

日本理学療法士協会ホームページ

<http://www.japanpt.or.jp/>

問い合わせ先

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部

平岩康之 宛

問い合わせ info@shiga-pt.or.jp

会費納入期限が変更になります

詳しくは協会ホームページをご覧ください。

この件に関する問い合わせは日本理学療法士協会までお願いします。

<http://www.japanpt.or.jp/members/membership/fee/list/>

**来年(2018年)の年会費から、
会費納入期限が3ヶ月早まります!!**

2018年度より、事業年度が開始する4月以前に、会費を納入いただくことになりました。

納入期限 3月31日

楽天カード 口座振替 2018年3月27日引落

引落登録のない方 2018年3月上旬より振込用紙順次発送予定

今までは6月末までに当年度会費を納入していただければ、会員としての権利をすべて行使いただくことが可能でしたが、2018年からは年度開始前の3月末までに納入がなかった場合は、4月より会員権利全面停止とさせていただきます。また、6月末までに納入がなかった方は会員資格喪失により退会となります。ご注意ください。

会員の皆様へご協力をお願い

<p style="font-size: x-small;"><4月以降の異動が決定した方> (特に県外へ異動される方)</p> <p style="font-size: x-small;">2018/1/1以降、お早めに異動申請をお手続きください。 (2/20までに申請された方は異動先の士会所属として請求します)</p>	<p style="font-size: x-small;"><2018年度の休会・復会・退会を希望される方></p> <p style="font-size: x-small;">2018/1/1~2/20にお手続きをお願いします。 (2/21~3/31の手続きは、年会費引落後に返金となる場合がございます。)</p>	<p style="font-size: x-small;"><振込でお支払されている方></p> <p style="font-size: x-small;">決済方法を楽天カードもしくは口座振替へ変更ください。 請求書が発送されてから納入期限までの期間が今までより短くなります。納入忘れのないよう、お早めに引落への切替をお願います。</p>
--	--	--

詳細は、日本理学療法士協会HPの「年会費」ページまたはFAQよりお問合せください。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
皆さん、今年のご目標は決まりましたか？
今年、皆さん注目の医療・介護の同時改定です。

この協会ニュースが手元に届くころには、
改定内容も大枠わかっている事でしょう。

新年度にむけて、良い準備をして、望みたいと思います。

皆さん、それぞれ計画を立てて、充実した1年を過ごしましょう。

今年もよろしくお祈りいたします。

滋賀医療技術専門学校

SHIGA SCHOOL OF MEDICAL TECHNOLOGY

リハビリテーション医学を学ぼう！



理学療法学科・作業療法学科ともに最短資格取得の3年制

学費は3年間で300万円

滋賀県で唯一のリハビリテーションのプロを養成する学校

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967
学校法人 藍野大学
滋賀医療技術専門学校

TEL :0749-46-2311/FAX:0749-46-2313
E-mail:shiga@aino.ac.jp
<http://shiga.aino.ac.jp/>